

# アジア・リートオープン (毎月決算型)

## 運用報告書(全体版)

第99期(決算日2023年3月22日) 第100期(決算日2023年4月24日) 第101期(決算日2023年5月22日)  
第102期(決算日2023年6月22日) 第103期(決算日2023年7月24日) 第104期(決算日2023年8月22日)

作成対象期間(2023年2月23日～2023年8月22日)

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
なお、当ファンドは、運用開始以来永らくご愛顧いただきましたが、2024年8月22日に信託期間満了となります。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／不動産投信	
信託期間	2014年9月29日から2024年8月22日までです。	
運用方針	アジアREITマザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券への投資を通じて、主として日本を除くアジア諸国・地域の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されているREIT(不動産投資信託証券)に投資し、高水準の配当収益の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行なうことを基本とします。	
主な投資対象	アジア・リートオープン(毎月決算型)	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	日本を除くアジア諸国・地域の金融商品取引所に上場されているREITを主要投資対象とします。なお、株式等にも投資する場合があります。
主な投資制限	アジア・リートオープン(毎月決算型)	外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	投資信託証券(上場投資信託証券を除きます。)への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として配当等収益等を中心に分配を行なうことを基本とします。ただし、基準価額水準等によっては売買益等が中心となる場合があります。なお、市況動向や基準価額水準等によっては、分配金額が大きく変動する場合があります。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。	

## 野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号



サポートダイヤル 0120-753104  
(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

## ○最近30期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額			参考指数		投資信託 組入比率	純資産額		
		税金 分	込 配	み 金	期 騰	中 落			中 率	
	円		円			%	%	百万円		
75期(2021年3月22日)	14,420		20			3.7	168.28	3.8	99.8	359
76期(2021年4月22日)	14,581		20			1.3	172.40	2.4	99.5	360
77期(2021年5月24日)	14,329		20		△	1.6	170.75	△ 1.0	99.2	356
78期(2021年6月22日)	14,764		20			3.2	176.92	3.6	99.1	363
79期(2021年7月26日)	14,744		20			0.0	178.06	0.6	98.5	364
80期(2021年8月23日)	14,586		20		△	0.9	176.24	△ 1.0	98.5	356
81期(2021年9月22日)	14,008		20		△	3.8	168.65	△ 4.3	98.8	341
82期(2021年10月22日)	14,901		20			6.5	179.79	6.6	99.7	340
83期(2021年11月22日)	14,985		20			0.7	182.30	1.4	99.1	334
84期(2021年12月22日)	14,283		20		△	4.6	174.71	△ 4.2	98.4	319
85期(2022年1月24日)	14,439		20			1.2	178.05	1.9	98.1	327
86期(2022年2月22日)	14,480		20			0.4	178.15	0.1	96.8	331
87期(2022年3月22日)	15,331		20			6.0	188.09	5.6	97.6	347
88期(2022年4月22日)	16,691		20			9.0	203.77	8.3	99.3	363
89期(2022年5月23日)	16,079		20		△	3.5	195.87	△ 3.9	98.7	309
90期(2022年6月22日)	16,565		20			3.1	202.06	3.2	97.4	315
91期(2022年7月22日)	16,632		20			0.5	201.85	△ 0.1	96.2	321
92期(2022年8月22日)	17,068		20			2.7	207.31	2.7	98.6	327
93期(2022年9月22日)	17,077		20			0.2	207.02	△ 0.1	97.9	330
94期(2022年10月24日)	14,610		20		△	14.3	175.34	△ 15.3	95.8	291
95期(2022年11月22日)	15,665		20			7.4	189.27	7.9	93.4	322
96期(2022年12月22日)	14,782		20		△	5.5	180.17	△ 4.8	96.1	309
97期(2023年1月23日)	15,636		20			5.9	193.10	7.2	94.8	333
98期(2023年2月22日)	15,501		20		△	0.7	190.73	△ 1.2	93.1	332
99期(2023年3月22日)	14,858		20		△	4.0	183.41	△ 3.8	90.3	326
100期(2023年4月24日)	15,453		20			4.1	190.73	4.0	93.1	342
101期(2023年5月22日)	15,350		20		△	0.5	189.87	△ 0.5	92.8	340
102期(2023年6月22日)	15,642		20			2.0	193.34	1.8	92.9	344
103期(2023年7月24日)	15,646		20			0.2	193.79	0.2	89.8	357
104期(2023年8月22日)	15,007		20		△	4.0	183.34	△ 5.4	91.2	343

\* 基準価額の騰落率は分配金込み。

\* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

\* 参考指数は「S&PアジアパシフィックREIT指数（除くオーストラリア・ニュージーランド・日本）」の構成国から、S&Pの各国REIT指数と月初における各指数時価総額を用いて、当社が独自に合成し円換算したものです。  
算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して、前営業日の指数値を営業日当日の為替レート（対顧客電信売買相場仲値）で円換算し、前営業日の時価総額を用いて合成しております。なお、設定時を100としています。

\* 「S&PアジアパシフィックREIT指数（除くオーストラリア・ニュージーランド・日本）」及び各国REIT指数はスタンダード&ブアーズファイナンシャル サービスーズ エル エル シーの所有する登録商標であり、野村アセットマネジメントに対して利用許諾が与えられています。スタンダード&ブアーズは本商品を推奨・支持・販売・促進等するものではなく、また本商品に対する投資適格性等に関し  
いかなる意思表示等を行なうものではありません。

(出所) : スタンダード・アンド・ブアーズ、ブルームバーグ

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

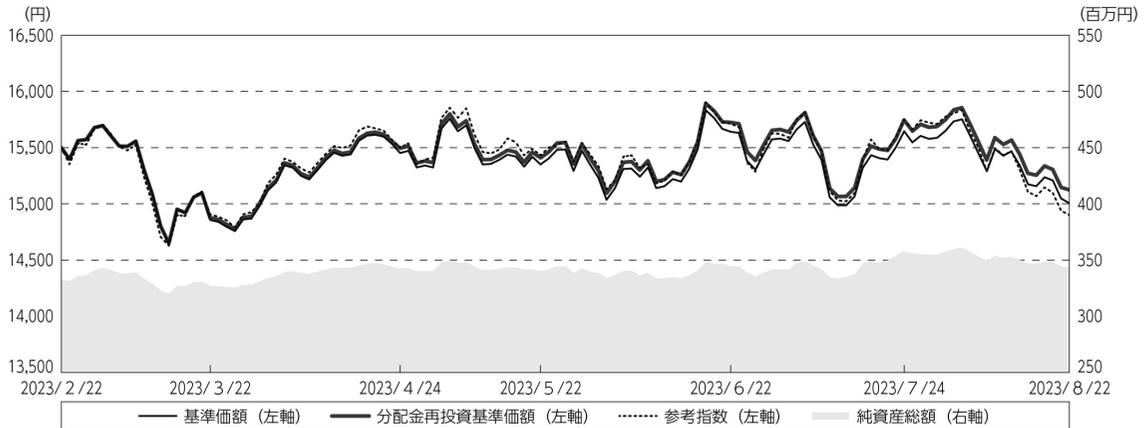
決 算 期	年 月 日	基 準 価 額		参 考 指 数	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率	
			騰 落 率			
第99期	(期 首) 2023年2月22日	円 15,501	% -	190.73	% -	% 93.1
	2月末	15,573	0.5	191.04	0.2	92.4
	(期 末) 2023年3月22日	14,878	△4.0	183.41	△3.8	90.3
第100期	(期 首) 2023年3月22日	14,858	-	183.41	-	90.3
	3月末	15,121	1.8	186.80	1.8	93.0
	(期 末) 2023年4月24日	15,473	4.1	190.73	4.0	93.1
第101期	(期 首) 2023年4月24日	15,453	-	190.73	-	93.1
	4月末	15,325	△0.8	189.62	△0.6	92.8
	(期 末) 2023年5月22日	15,370	△0.5	189.87	△0.5	92.8
第102期	(期 首) 2023年5月22日	15,350	-	189.87	-	92.8
	5月末	15,233	△0.8	188.68	△0.6	92.3
	(期 末) 2023年6月22日	15,662	2.0	193.34	1.8	92.9
第103期	(期 首) 2023年6月22日	15,642	-	193.34	-	92.9
	6月末	15,581	△0.4	192.23	△0.6	93.2
	(期 末) 2023年7月24日	15,666	0.2	193.79	0.2	89.8
第104期	(期 首) 2023年7月24日	15,646	-	193.79	-	89.8
	7月末	15,648	0.0	194.11	0.2	90.9
	(期 末) 2023年8月22日	15,027	△4.0	183.34	△5.4	91.2

\* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

\* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

## ◎運用経過

### ○作成期間中の基準価額等の推移



第99期首：15,501円

第104期末：15,007円（既払分配金（税込み）：120円）

騰落率：△2.4%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2023年2月22日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、「S&PアジアパシフィックREIT指数（除くオーストラリア・ニュージーランド・日本）」の構成国から、S&Pの各国REIT指数と月初における各指数時価総額を用いて、当社が独自に合成し円換算したものです。参考指数は、作成期首（2023年2月22日）の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

### ○基準価額の変動要因

基準価額は、第99期期首15,501円から第104期期末15,007円（分配後）となりました。この間に120円の分配金をお支払いしましたので、分配金を考慮した値下がり額は374円となりました。

#### (基準価額の上昇要因)

- ・ 利上げの長期化が見込まれる米国と大規模緩和を続ける日本との金融政策の方向性の違いが意識されたことなどを背景に円が売られ、シンガポールドル、香港ドルがともに対円で上昇（円安）したこと
- ・ 中国当局による経済対策への期待が広がり投資家がリスクを取る姿勢を強める局面があったこと

#### (基準価額の下落要因)

- ・ 米国における銀行破綻や債務上限問題などが投資家心理の重石となったこと
- ・ 中国の経済統計が軟調な結果となり経済の先行きに対する警戒感が広がったことや、中国の大手不動産会社の経営不安が伝わったこと

## ○投資環境

当作成期のシンガポールと香港のREIT市場は、米国の銀行破綻を受けた投資家心理の悪化などを背景に、軟調に始まりました。その後は、欧米の金融システムをめぐる懸念が後退したことや、米国の物価指数の伸び率が鈍化したことを受けて、FRB（米連邦準備制度理事会）の利上げが長引くことへの懸念が後退したことなどを背景に、底堅く推移しました。5月以降は、中国の経済統計が市場予想を下回り景気回復の鈍さが意識されたことや、米債務上限問題への警戒感などが投資家心理の重石となり、弱含みの展開となりました。シンガポールのREIT市場は世界の株式市場が上昇した局面などでは堅調な値動きが見られるなど底堅く推移した一方、香港のREIT市場は人民元安を受けた中国からの資金流出への警戒感や、中国経済の先行き不安などを背景に、下げ幅を拡大する展開となりました。7月には、中国当局による経済対策への期待などを手掛かりに持ち直す場面も見られたものの、当作成期末にかけては、中国の経済統計が軟調な結果となり経済の先行きに対する警戒感が広がったことや、中国の大手不動産会社の経営不安が伝わったこと、米金利の上昇を受けた投資家心理の悪化などを背景に、弱含みの展開となりました。当作成期を通じては、シンガポールREIT市場、香港REIT市場ともに、下落しました。

## ○当ファンドのポートフォリオ

### [アジア・リートオープン（毎月決算型）]

主要投資対象である [アジアREITマザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、第104期末におけるREITの実質組入比率は91.2%としました。

### [アジアREITマザーファンド]

収益の成長性に着目し、ホテルやサービス付き住宅に投資する「フレイザーズ ホスピタリティ・トラスト」や、商業施設などに投資する「フレイザーズ センターポイント・トラスト」などを、市場の時価総額比率より高めの組入比率としました。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

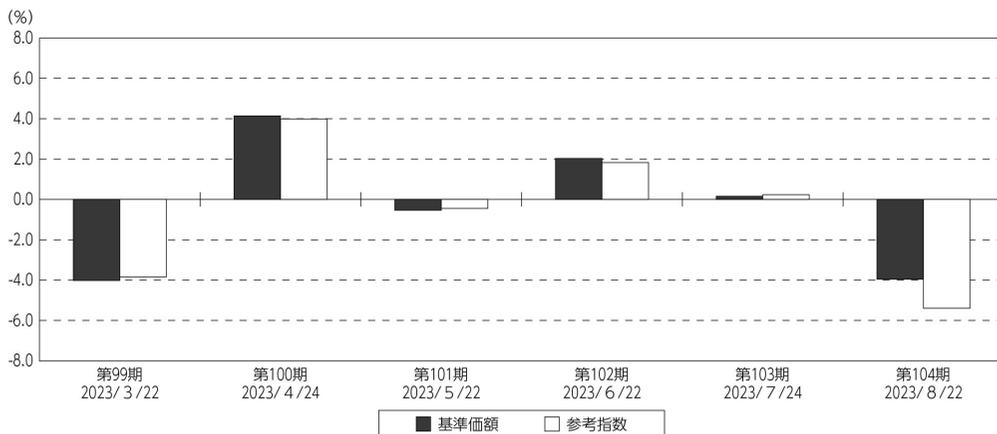
当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。  
コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数の3.9%の下落に対し、基準価額の騰落率※は2.4%の下落となりました。  
※基準価額の騰落率は、分配金（税込み）を再投資して算出しております。

### (主なプラス要因)

- ・個別銘柄比率においてフレーザーズ センターポイント・トラストやダイワハウス ロジスティクス・トラストなどを市場の時価総額比率よりも多めの組入比率としたこと

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、「S&PアジアパシフィックREIT指数（除くオーストラリア・ニュージーランド・日本）」の構成国から、S&Pの各国REIT指数と月初における各指数時価総額を用いて、当社が独自に合成し円換算したものです。

## ◎分配金

収益分配金につきましては、配当等収益等を中心に、基準価額水準等を勘案し、1万口当たり第99期～第104期は各20円といたしました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

## ○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第99期	第100期	第101期	第102期	第103期	第104期
	2023年2月23日～ 2023年3月22日	2023年3月23日～ 2023年4月24日	2023年4月25日～ 2023年5月22日	2023年5月23日～ 2023年6月22日	2023年6月23日～ 2023年7月24日	2023年7月25日～ 2023年8月22日
当期分配金 (対基準価額比率)	20 0.134%	20 0.129%	20 0.130%	20 0.128%	20 0.128%	20 0.133%
当期の収益	8	2	20	20	0	20
当期の収益以外	11	17	—	—	19	—
翌期繰越分配対象額	8,335	8,319	8,347	8,430	8,411	8,494

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ◎今後の運用方針

### [アジア・リートオープン（毎月決算型）]

主要投資対象である[アジアREITマザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、基準価額の向上に努めます。

### [アジアREITマザーファンド]

当ファンドでは、日本を除くアジア諸国・地域の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されているREITを主要投資対象とします。REITへの投資にあたっては、各銘柄ごとの利回り水準、市況動向、流動性等を勘案しながら、収益性・成長性等の調査や割安分析等により投資銘柄を選別し、高水準の配当収益の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行なうことを基本とします。

### (運用戦略)

米中対立やロシアによるウクライナへの軍事侵攻といった地政学的リスク、米国の金融政策の動向などへの懸念はありますが、香港、シンガポール共にアジアの経済拠点としての優位性を確立しており、不動産市況は底堅く推移することが期待されます。当面は、配当成長が見込まれる銘柄に着目しつつ、保有不動産の賃料水準や立地、新規の物件取得状況などを考慮し、銘柄選択を行なう予定です。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしく願いいたします。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年2月23日～2023年8月22日)

項 目	第99期～第104期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬	130	0.845	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	( 63 )	( 0.409 )	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	( 63 )	( 0.409 )	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	( 4 )	( 0.027 )	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	1	0.008	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 投 資 信 託 証 券 ）	( 1 )	( 0.008 )	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	1	0.007	(c) 有価証券取引税＝作成期間の有価証券取引税÷作成期間の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 投 資 信 託 証 券 ）	( 1 )	( 0.007 )	
(d) そ の 他 費 用	5	0.032	(d) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 4 )	( 0.029 )	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 0 )	( 0.002 )	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	( 0 )	( 0.002 )	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	137	0.892	
作成期間の平均基準価額は、15,413円です。			

\* 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

\* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

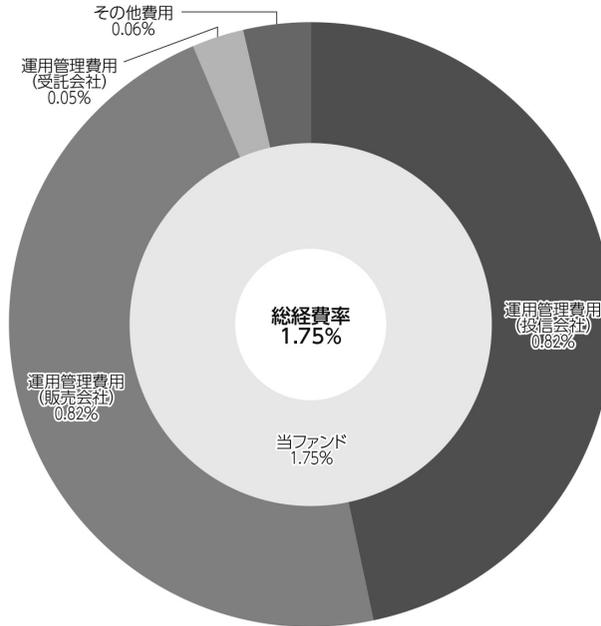
\* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

\* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## （参考情報）

## ○総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.75%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 当ファンドのその他費用には、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、信託事務の処理に要するその他の諸費用等が含まれます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2023年2月23日～2023年8月22日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	第99期～第104期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
アジアREITマザーファンド	千口 10,011	千円 41,194	千口 5,836	千円 23,974

\*単位未満は切り捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2023年2月23日～2023年8月22日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2023年8月22日現在)

## 親投資信託残高

銘柄	第98期末		第104期末	
	口 数	評 価 額	口 数	評 価 額
アジアREITマザーファンド	千口 80,786	千円 343,718	千口 84,961	千円 343,718

\*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2023年8月22日現在)

項 目	第104期末	
	評 価 額	比 率
アジアREITマザーファンド	千円 343,718	% 99.6
コール・ローン等、その他	1,444	0.4
投資信託財産総額	345,162	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*アジアREITマザーファンドにおいて、第104期末における外貨建純資産（324,054千円）の投資信託財産総額（344,545千円）に対する比率は94.1%です。

\*外貨建資産は、第104期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=146.27円、1香港ドル=18.66円、1シンガポールドル=107.75円。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第99期末	第100期末	第101期末	第102期末	第103期末	第104期末
	2023年3月22日現在	2023年4月24日現在	2023年5月22日現在	2023年6月22日現在	2023年7月24日現在	2023年8月22日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	327,877,923	345,794,799	344,464,194	347,946,326	359,176,092	345,162,651
コール・ローン等	314,406	1,264,759	1,530,511	1,887,225	1,378,417	618,742
アジアREITマザーファンド(評価額)	326,853,517	342,201,040	340,083,683	346,059,101	357,797,675	343,718,909
未収入金	710,000	2,329,000	2,850,000	—	—	825,000
(B) 負債	886,887	3,442,822	4,238,658	3,381,749	1,242,732	1,300,359
未払収益分配金	440,146	443,094	443,288	440,550	457,550	458,274
未払解約金	10,250	2,478,728	3,344,367	2,449,106	270,005	363,076
未払信託報酬	435,657	520,005	450,140	491,151	514,191	478,093
未払利息	—	—	1	3	2	—
その他未払費用	834	995	862	939	984	916
(C) 純資産総額(A－B)	326,991,036	342,351,977	340,225,536	344,564,577	357,933,360	343,862,292
元本	220,073,053	221,547,415	221,644,331	220,275,002	228,775,400	229,137,424
次期繰越損益金	106,917,983	120,804,562	118,581,205	124,289,575	129,157,960	114,724,868
(D) 受益権総口数	220,073,053口	221,547,415口	221,644,331口	220,275,002口	228,775,400口	229,137,424口
1万口当たり基準価額(C/D)	14,858円	15,453円	15,350円	15,642円	15,646円	15,007円

(注) 第99期首元本額は214,318,992円、第99～104期中追加設定元本額は39,056,207円、第99～104期中一部解約元本額は24,237,775円、1口当たり純資産額は、第99期1.4858円、第100期1.5453円、第101期1.5350円、第102期1.5642円、第103期1.5646円、第104期1.5007円です。

## ○損益の状況

項 目	第99期	第100期	第101期	第102期	第103期	第104期
	2023年2月23日～ 2023年3月22日	2023年3月23日～ 2023年4月24日	2023年4月25日～ 2023年5月22日	2023年5月23日～ 2023年6月22日	2023年6月23日～ 2023年7月24日	2023年7月25日～ 2023年8月22日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	—	—	△ 17	△ 42	△ 46	△ 46
支払利息	—	—	△ 17	△ 42	△ 46	△ 46
(B) 有価証券売買損益	△ 13,182,368	13,950,023	△ 1,397,322	7,288,688	1,410,307	△ 13,648,434
売買益	19,801	14,112,180	25,395	7,420,018	1,496,145	71,837
売買損	△ 13,202,169	△ 162,157	△ 1,422,717	△ 131,330	△ 85,838	△ 13,720,271
(C) 信託報酬等	△ 436,491	△ 521,000	△ 451,002	△ 492,090	△ 515,175	△ 479,009
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 13,618,859	13,429,023	△ 1,848,341	6,796,556	895,086	△ 14,127,489
(E) 前期繰越損益金	14,594,419	538,603	13,325,884	10,692,341	16,799,756	16,860,016
(F) 追加信託差損益金	106,382,569	107,280,030	107,546,950	107,241,228	111,920,668	112,450,615
(配当等相当額)	( 136,015,394)	( 137,846,392)	( 138,664,288)	( 139,115,330)	( 147,039,962)	( 148,403,750)
(売買損益相当額)	(△ 29,632,825)	(△ 30,566,362)	(△ 31,117,338)	(△ 31,874,102)	(△ 35,119,294)	(△ 35,953,135)
(G) 計(D+E+F)	107,358,129	121,247,656	119,024,493	124,730,125	129,615,510	115,183,142
(H) 収益分配金	△ 440,146	△ 443,094	△ 443,288	△ 440,550	△ 457,550	△ 458,274
次期繰越損益金(G+H)	106,917,983	120,804,562	118,581,205	124,289,575	129,157,960	114,724,868
追加信託差損益金	106,382,569	107,280,030	107,546,950	107,241,228	111,920,668	112,450,615
(配当等相当額)	( 136,030,078)	( 137,847,259)	( 138,683,531)	( 139,151,856)	( 147,041,249)	( 148,442,084)
(売買損益相当額)	(△ 29,647,509)	(△ 30,567,229)	(△ 31,136,581)	(△ 31,910,628)	(△ 35,120,581)	(△ 35,991,469)
分配準備積立金	47,419,703	46,461,005	46,342,228	46,542,366	45,396,174	46,198,057
繰越損益金	△ 46,884,289	△ 32,936,473	△ 35,307,973	△ 29,494,019	△ 28,158,882	△ 43,923,804

\* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

\* 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

\* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2023年2月23日～2023年8月22日)は以下の通りです。

項 目	第99期	第100期	第101期	第102期	第103期	第104期
	2023年2月23日～ 2023年3月22日	2023年3月23日～ 2023年4月24日	2023年4月25日～ 2023年5月22日	2023年5月23日～ 2023年6月22日	2023年6月23日～ 2023年7月24日	2023年7月25日～ 2023年8月22日
a. 配当等収益(経費控除後)	180,024円	61,834円	1,045,150円	2,182,193円	17,221円	2,293,484円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金控除後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	136,030,078円	137,847,259円	138,683,531円	139,151,856円	147,041,249円	148,442,084円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	47,679,825円	46,842,265円	45,740,366円	44,800,723円	45,836,503円	44,362,847円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	183,889,927円	184,751,358円	185,469,047円	186,134,772円	192,894,973円	195,098,415円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	8,355円	8,339円	8,367円	8,450円	8,431円	8,514円
g. 分配金	440,146円	443,094円	443,288円	440,550円	457,550円	458,274円
h. 分配金(1万口当たり)	20円	20円	20円	20円	20円	20円

## ○分配金のお知らせ

	第99期	第100期	第101期	第102期	第103期	第104期
1 万口当たり分配金（税込み）	20円	20円	20円	20円	20円	20円

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

## ○お知らせ

該当事項はございません。

## ○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2023年8月22日現在）

## &lt;アジアREITマザーファンド&gt;

下記は、アジアREITマザーファンド全体（84,961千口）の内容です。

## 外国投資信託証券

銘	柄	第98期末		第104期末		比 率	
		口 数	口 数	評 価 額	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)		口	口	千米ドル	千円	%	
KEPPEL PACIFIC OAK US REIT		75,000	75,000	20	2,961	0.9	
ARA US HOSPITALITY TRUST		221,900	221,900	72	10,548	3.1	
DIGITAL CORE REIT MANAGEMENT		38,000	38,000	20	2,973	0.9	
MANULIFE US REAL ESTATE INVESTMENT TRUST		58,392	58,392	4	666	0.2	
小	計	口 数 ・ 金 額	393,292	393,292	117	17,150	
		銘 柄 数 < 比 率 >	4	4	—	<5.0%>	
(香港)				千香港ドル			
LINK REIT		63,358	80,929	3,067	57,234	16.7	
SUNLIGHT REAL ESTATE INVESTMENT		47,000	47,000	119	2,236	0.7	
小	計	口 数 ・ 金 額	110,358	127,929	3,187	59,470	
		銘 柄 数 < 比 率 >	2	2	—	<17.3%>	
(シンガポール)				千シンガポールドル			
CAPITALAND INTEGRATED COMMERCIAL TRUST		186,015	186,015	349	37,681	11.0	
CAPITALAND ASCENDAS REIT		97,818	97,818	264	28,457	8.3	
MAPLETREE LOGISTICS TRUST		35,436	35,436	58	6,261	1.8	
KEPPEL REIT		36,699	36,699	31	3,400	1.0	
FRASERS CENTREPOINT TRUST		122,999	122,999	265	28,626	8.3	
CDL HOSPITALITY TRUSTS		27,500	27,500	28	3,111	0.9	
CAPITALAND CHINA TRUST		86	86	0.07912	8	0.0	
PARKWAY LIFE REAL ESTATE		18,000	18,000	67	7,273	2.1	
MAPLETREE INDUSTRIAL TRUST		93,006	93,006	204	22,047	6.4	
MAPLETREE PAN ASIA COMMERCIAL TRUST		144,034	144,034	218	23,589	6.9	
FAR EAST HOSPITALITY TRUST		362,400	36,400	22	2,431	0.7	
CAPITALAND ASCOTT TRUST		133,540	196,540	198	21,388	6.2	
OUE COMMERCIAL REAL ESTATE I		202,387	202,387	51	5,560	1.6	
FRASERS HOSPITALITY TRUST		—	414,500	192	20,768	6.0	
DAIWA HOUSE LOGISTICS TRUST		180,400	180,400	105	11,371	3.3	
KEPPEL DC REIT		31,538	31,538	65	7,068	2.1	
FRASERS LOGISTICS & COMMERCIAL TRUST		64,351	64,351	74	8,043	2.3	
小	計	口 数 ・ 金 額	1,736,209	1,887,709	2,200	237,090	
		銘 柄 数 < 比 率 >	16	17	—	<69.0%>	
合	計	口 数 ・ 金 額	2,239,859	2,408,930	—	313,711	
		銘 柄 数 < 比 率 >	22	23	—	<91.3%>	

\* 邦貨換算金額は、第104期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

\* 比率は、このファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の比率。

\* 評価額の単位未満は切り捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

\* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

<純資産総額の10%を超える不動産投資信託に関する組入投資信託証券の内容>

**リンク・リート（Link Real Estate Investment Trust）：第104期末組入比率 16.7%**

**イ. 不動産投資信託の目的及び基本的性格**

本ファンドの受益証券は香港証券取引所に上場しています。ビジョンとして世界を代表するREITとなること、周囲の人々の生活を改善することを掲げています。

**ロ. 不動産投資信託の特徴**

香港や中国本土、オーストラリア、シンガポール、英国の商業施設やオフィスビル等を所有、運営しています。

**ハ. 1口当たり資産運用報酬額等**

「リンク・リート」は、投資信託の運用報酬に相当する詳細な開示がございませんので、「1口当たり資産運用報酬等の額」は開示することができません。なお、「リンク・リート」の開示情報資料についてはホームページにおいて閲覧することが可能です。

ホームページアドレス <https://www.linkreit.com/>

**キャピタランド インテグレートッド コマーシャル・トラスト（CapitaLand Integrated Commercial Trust）：第104期末組入比率 11.0%**

**イ. 不動産投資信託の目的及び基本的性格**

安定した配当と持続可能なトータル・リターンを投資家に提供することを目的としています。

**ロ. 不動産投資信託の特徴**

主にシンガポール国内に所在する、小売店舗用不動産やオフィスビル等の商業用不動産へ投資しています。

**ハ. 1口当たり資産運用報酬額等**

「キャピタランド インテグレートッド コマーシャル・トラスト」は、投資信託の運用報酬に相当する詳細な開示がございませんので、「1口当たり資産運用報酬等の額」は開示することができません。なお、「キャピタランド インテグレートッド コマーシャル・トラスト」の開示情報資料についてはホームページにおいて閲覧することが可能です。

ホームページアドレス <https://www.cict.com.sg/>

# アジアREITマザーファンド

## 運用報告書

第12期（決算日2023年2月22日）

作成対象期間（2022年2月23日～2023年2月22日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	高水準の配当収益の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行なうことを基本とします。REIT（不動産投資信託証券）への投資にあたっては、各銘柄ごとの利回り水準、市況動向、流動性等を勘案しながら、収益性・成長性等の調査や割安分析等により投資銘柄を選別します。REITの組入比率は原則として高位を維持することを基本とします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主な投資対象	日本を除くアジア諸国・地域の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されているREITを主要投資対象とします。なお、株式等にも投資する場合があります。
主な投資制限	投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

<http://www.nomura-am.co.jp/>

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数	投資信託組入比率	純資産額
	期騰落	中率			
	円	%		%	百万円
8期(2019年2月22日)	33,488	20.8	330.02	20.8	382
9期(2020年2月25日)	36,606	9.3	345.48	4.7	618
10期(2021年2月22日)	34,583	△ 5.5	319.41	△ 7.5	534
11期(2022年2月22日)	37,203	7.6	350.88	9.9	330
12期(2023年2月22日)	41,106	10.5	375.66	7.1	332

\*参考指数は「S&PアジアパシフィックREIT指数（除くオーストラリア・ニュージーランド・日本）」の構成国から、S&Pの各国REIT指数と月初における各指数時価総額を用いて、当社が独自に合成し円換算したものです。

算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して、前営業日の指数値を営業日当日の為替レート（対顧客電信売買相場仲値）で円換算し、前営業日の時価総額を用いて合成しております。なお、設定時を100としています。

\*「S&PアジアパシフィックREIT指数（除くオーストラリア・ニュージーランド・日本）」及び各国REIT指数はスタンダード&プアーズファイナンシャル サービスーズ エル エル シーの所有する登録商標であり、野村アセットマネジメントに対して利用許諾が与えられています。スタンダード&プアーズは本商品を推奨・支持・販売・促進等するものではなく、また本商品に対する投資適格性等に関し  
いかなる意思表示等を行なうものではありません。

(出所)：スタンダード・アンド・プアーズ、ブルームバーグ

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数	投資信託組入比率
	騰落	率		
(期首) 2022年2月22日	円	%		%
	37,203	—	350.88	96.8
2月末	36,593	△ 1.6	344.07	96.4
3月末	41,376	11.2	386.01	99.5
4月末	42,778	15.0	396.21	99.0
5月末	42,138	13.3	392.96	97.9
6月末	43,900	18.0	403.98	97.4
7月末	43,917	18.0	403.34	95.7
8月末	43,651	17.3	400.68	98.0
9月末	40,453	8.7	368.29	96.5
10月末	40,101	7.8	359.11	95.8
11月末	40,629	9.2	367.20	95.6
12月末	39,762	6.9	363.07	95.6
2023年1月末	42,933	15.4	395.77	94.6
(期末) 2023年2月22日	円	%		%
	41,106	10.5	375.66	93.2

\*騰落率は期首比です。

## ◎運用経過

### ○期中の基準価額等の推移



(注) 参考指数は、「S&PアジアパシフィックREIT指数 (除くオーストラリア・ニュージーランド・日本)」の構成国から、S&Pの各国REIT指数と月初における各指数時価総額を用いて、当社が独自に合成し円換算したものです。作成期首の値が基準価額と同一となるように計算しております。

### ○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首37,203円から期末41,106円に3,903円の値上がりとなりました。

#### (基準価額の主な上昇要因)

- ・日米金利差の拡大が意識されたことなどを背景に、シンガポールドル、香港ドルがともに対円で上昇（円安）したこと
- ・米CPI（消費者物価指数）の上昇率が市場予想を下回った局面において、FRB（米連邦準備制度理事会）による利上げペースが減速するとの見方が広がったこと

#### (基準価額の主な下落要因)

- ・米国をはじめとする各国の金融引き締めへの警戒感が広がったこと
- ・中国の新型コロナウイルスに関する防疫措置の緩和発表前において、防疫措置の継続が景気減速の一因となることが懸念されたこと

## ○投資環境

当作成期前半のシンガポールと香港のREIT市場は、ウクライナ情勢の先行きへの警戒感や、資源価格の高騰を受けた世界景気悪化への懸念などを背景に軟調に始まりましたが、中国当局による金融緩和や消費刺激策などへの期待を手掛かりに、持ち直す展開となりました。5月になると、米国の金融引き締めが加速することへの警戒感などからリスク回避の売りが優勢となり、シンガポールREIT市場はマイナスに転じましたが、香港のREIT市場は中国・上海市における新型コロナウイルス感染拡大に伴う行動制限措置の緩和への期待や中国人民銀行（中央銀行）による最優遇貸出金利の引き下げなどを背景に、上昇幅を拡大する動きとなりました。6月には米国をはじめとする各国の金融引き締めへの警戒感などからリスク回避の売りが優勢となり、いずれのREIT市場もマイナス圏での値動きとなりました。その後は米国における利上げペースが緩和されるとの期待が広がり、米金利の低下期待を背景にREITを買う動きがあったことから、シンガポールREIT市場は堅調な推移となった一方、香港のREIT市場は中国本土における新型コロナウイルスの感染再拡大が投資家心理の重石となり、軟調な値動きとなりました。

当作成期後半は、米国の利上げペースが緩和されるとの期待感が後退したことなどから、シンガポール、香港ともに、REIT市場は軟調に始まりました。9月下旬には、FOMC（米連邦公開市場委員会）の結果を受けて、米国の金融引き締め長期化への警戒感が広がったことから、下げ幅を拡大する動きとなりました。その後も、シンガポールの中央銀行にあたるMAS（金融通貨庁）が追加の金融引き締めを決めたことや、中国の新型コロナウイルスに関する防疫措置が景気減速の一因となることが懸念されたことなどを背景に、値を下げる展開が続きました。11月に入ると、10月の米CPI（消費者物価指数）の上昇率が市場予想を下回ったことを受け、FRB（米連邦準備制度理事会）による利上げペースが減速するとの見方や、中国における防疫措置の緩和に対する期待感などを背景に、下げ幅を縮小する動きとなりました。12月以降は、中国本土の各地で新型コロナウイルス感染対策の緩和が相次いだことや、中国政府の出入国規制が緩和されたこと、香港政府が新型コロナウイルス感染者に義務付けていた隔離措置を撤廃する方針を表明したことなどを背景に景気回復への期待感が高まり、香港のREIT市場を中心に持ち直す動きが続きました。しかし、その後2月に入ると、1月の米CPIが市場予想を上回ったことを受け、米国の金融引き締め継続への警戒感が広がったことから、再び値を下げる動きとなりました。当作成期を通じては、シンガポールREIT市場、香港REIT市場ともに、下落しました。

## ○当ファンドのポートフォリオ

### <REIT組入比率>

REITの組入比率は、原則として高位を維持し、期末には93.2%としました。

### <主な銘柄>

収益の成長性に着目し、ホテルやサービス付き住宅に投資する「ファー イースト ホスピタリティ・トラスト」や、商業施設などに投資する「フレイザーズ センターポイント・トラスト」などを、市場の時価総額比率より高めの組入比率としました。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

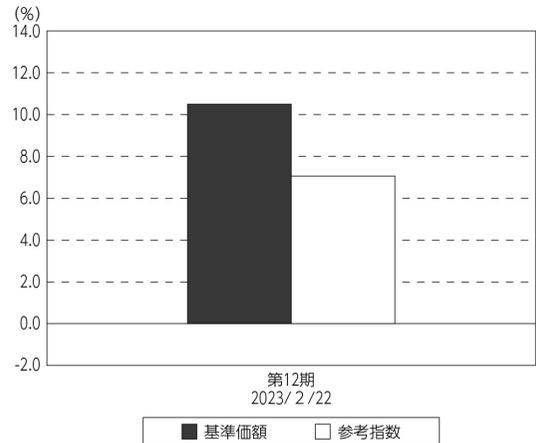
### <参考指数との対比>

参考指数の7.1%の上昇に対し、基準価額の騰落率は10.5%の上昇となりました。

#### (主なプラス要因)

- ・個別銘柄比率においてファー イーストホスピタリティ・トラストなどを市場の時価総額比率よりも多めに組み入れたこと

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 参考指数は、「S&PアジアパシフィックREIT指数（除くオーストラリア・ニュージーランド・日本）」の構成国から、S&Pの各国REIT指数と月初における各指数時価総額を用いて、当社が独自に合成し円換算したものです。

## ◎今後の運用方針

当ファンドでは、日本を除くアジア諸国・地域の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されているREITを主要投資対象とします。REITへの投資にあたっては、各銘柄ごとの利回り水準、市況動向、流動性等を勘案しながら、収益性・成長性等の調査や割安分析等により投資銘柄を選別し、高水準の配当収益の確保と中長期的な値上がり利益の獲得を目指して運用を行なうことを基本とします。

#### (運用戦略)

新型コロナウイルスの影響による世界経済の停滞や、米中対立やロシアによるウクライナへの軍事侵攻といった地政学的リスク、米国の金融政策の動向などへの懸念はありますが、香港、シンガポール共にアジアの経済拠点としての優位性を確立しており、不動産市況は底堅く推移することが期待されます。当面は、配当成長が見込まれる銘柄に着目しつつ、保有不動産の賃料水準や立地、新規の物件取得状況などを考慮し、銘柄選択を行なう予定です。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願いいたします。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年2月23日～2023年2月22日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 投 資 信 託 証 券 )	円 8 ( 8 )	% 0.018 (0.018)	(a) 売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 ( 投 資 信 託 証 券 )	7 ( 7 )	0.016 (0.016)	(b) 有価証券取引税=期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( そ の 他 )	34 (33) ( 1 )	0.081 (0.079) (0.002)	(c) その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数  保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用  信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	49	0.115	
期中の平均基準価額は、41,519円です。			

\*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2022年2月23日～2023年2月22日)

## 投資信託証券

銘 柄	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
アメリカ	口	千米ドル	口	千米ドル
KEPPEL PACIFIC OAK US REIT	— ( —)	— (△ 1)	—	—
ARA US HOSPITALITY TRUST	221,900	108	—	—
DIGITAL CORE REIT MANAGEMENT	38,000 ( —)	23 (△ 0.2698)	—	—
MANULIFE US REAL ESTATE INVESTMENT TRUST	— ( —)	— (△0.23356)	—	—
小 計	259,900 ( —)	131 (△ 2)	—	—
香港		千香港ドル		千香港ドル
LINK REIT	3,245	183	6,600	447
小 計	3,245	183	6,600	447
シンガポール		千シンガポールドル		千シンガポールドル
CAPITALAND INTEGRATED COMMERCIAL TRUST	24,000 ( —)	48 (△0.25321)	16,500	38
CAPITALAND ASCENDAS REIT	— ( —)	— (△ 2)	29,100	83
SUNTEC REIT	— ( —)	— (△ 0.3792)	63,200	85
MAPLETREE LOGISTICS TRUST	— ( —)	— (△ 1)	—	—
KEPPEL REIT	— ( —)	— (△0.09908)	—	—
FRASERS CENTREPOINT TRUST	—	—	16,000	38
CDL HOSPITALITY TRUSTS	— ( —)	— (△ 0.143)	—	—
CAPITALAND CHINA TRUST	— ( —)	— (△0.00442)	—	—
PARKWAY LIFE REAL ESTATE	18,000 ( —)	68 (△ 0.387)	—	—
MAPLETREE INDUSTRIAL TRUST	2,453 ( —)	5 (△0.09055)	14,500	38
MAPLETREE PAN ASIA COMMERCIAL TRUST	— ( —)	— (△ 1)	20,600	39
MAPLETREE COMMERCIAL TRUST RTS	— ( 44,074)	— ( 88)	— ( 44,074)	— ( —)
MAPLETREE NORTH ASIA COMMERCIAL	—	—	62,012	75
CAPITALAND ASCOTT TRUST	— ( —)	— (△ 2)	34,000	38
OUE COMMERCIAL REAL ESTATE I	— ( —)	— (△ 1)	—	—

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国	シンガポール	口	千シンガポールドル	口	千シンガポールドル
	FRASERS HOSPITALITY TRUST	—	—	95,000	65
		( — )	(△0.32613)		
	DAIWA HOUSE LOGISTICS TRUST	180,400	112	—	—
	KEPPEL DC REIT	—	—	94,400	202
		( — )	(△0.73798)		
国	FRASERS LOGISTICS & COMMERCIAL TRUST	—	—	—	—
		( — )	(△ 1)		
小計		224,853	234	445,312	706
		( 44,074)	( 75)	( 44,074)	( —)

\*金額は受け渡し代金。

\*金額の単位未満は切り捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

\* ( )内は分割、合併、有償増資などによる増減分で、上段の数字には含まれておりません。

\*銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

## ○利害関係人との取引状況等

(2022年2月23日～2023年2月22日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

(2023年2月22日現在)

## ○組入資産の明細

## 外国投資信託証券

銘柄	期首(前期末)		当 期 末			
	口 数	口 数	評 価 額		比 率	
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	口	口	千米ドル	千円	%	
KEPPEL PACIFIC OAK US REIT	75,000	75,000	35	4,755	1.4	
ARA US HOSPITALITY TRUST	—	221,900	84	11,375	3.4	
DIGITAL CORE REIT MANAGEMENT	—	38,000	22	3,101	0.9	
MANULIFE US REAL ESTATE INVESTMENT TRUST	58,392	58,392	16	2,166	0.7	
小 計	口 数 ・ 金 額	133,392	393,292	158	21,397	
	銘柄 数 < 比 率 >	2	4	—	< 6.4% >	
(香港)			千香港ドル			
LINK REIT	66,713	63,358	3,342	57,484	17.3	
SUNLIGHT REAL ESTATE INVESTMENT	47,000	47,000	162	2,797	0.8	
小 計	口 数 ・ 金 額	113,713	110,358	3,504	60,281	
	銘柄 数 < 比 率 >	2	2	—	< 18.2% >	
(シンガポール)			千シンガポールドル			
CAPITALAND INTEGRATED COMMERCIAL TRUST	178,515	186,015	362	36,534	11.0	
CAPITALAND ASCENDAS REIT	126,918	97,818	273	27,586	8.3	
SUNTEC REIT	63,200	—	—	—	—	
MAPLETREE LOGISTICS TRUST	35,436	35,436	59	6,031	1.8	
KEPPEL REIT	36,699	36,699	33	3,363	1.0	
FRASERS CENTREPOINT TRUST	138,999	122,999	266	26,882	8.1	
CDL HOSPITALITY TRUSTS	27,500	27,500	34	3,517	1.1	
CAPITALAND CHINA TRUST	86	86	0.0989	9	0.0	
PARKWAY LIFE REAL ESTATE	—	18,000	72	7,306	2.2	
MAPLETREE INDUSTRIAL TRUST	105,053	93,006	218	22,013	6.6	
MAPLETREE PAN ASIA COMMERCIAL TRUST	164,634	144,034	246	24,807	7.5	
MAPLETREE NORTH ASIA COMMERCIAL	62,012	—	—	—	—	
FAR EAST HOSPITALITY TRUST	362,400	362,400	231	23,360	7.0	
CAPITALAND ASCOTT TRUST	167,540	133,540	137	13,853	4.2	
OUE COMMERCIAL REAL ESTATE I	202,387	202,387	67	6,828	2.1	
FRASERS HOSPITALITY TRUST	95,000	—	—	—	—	
DAIWA HOUSE LOGISTICS TRUST	—	180,400	111	11,265	3.4	
KEPPEL DC REIT	125,938	31,538	62	6,257	1.9	
FRASERS LOGISTICS & COMMERCIAL TRUST	64,351	64,351	80	8,101	2.4	
小 計	口 数 ・ 金 額	1,956,668	1,736,209	2,260	227,721	
	銘柄 数 < 比 率 >	17	16	—	< 68.6% >	
合 計	口 数 ・ 金 額	2,203,773	2,239,859	—	309,400	
	銘柄 数 < 比 率 >	21	22	—	< 93.2% >	

\*邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

\*比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

\*金額の単位未満は切り捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

\*銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

＜純資産総額の10%を超える不動産投資信託に関する組入投資信託証券の内容＞

**リンク・リート (Link Real Estate Investment Trust) : 期末組入比率 17.3%**

イ. 不動産投資信託の目的及び基本的性格

本ファンドの受益証券は香港証券取引所に上場しています。ビジョン、ミッションとして世界を代表するREITとなること、地域社会のパートナーになること、周囲の人々の生活を改善すること、持続性のある成長を生み出すこと等を掲げています。

ロ. 不動産投資信託の特徴

香港や中国本土、オーストラリア、英国の商業施設やオフィスビル等を所有、運営していません。

ハ. 1口当たり資産運用報酬額等

「リンク・リート」は、投資信託の運用報酬に相当する詳細な開示がございませんので、「1口当たり資産運用報酬等の額」は開示することができません。なお、「リンク・リート」の開示情報資料についてはホームページにおいて閲覧することが可能です。

ホームページアドレス <https://www.linkreit.com/>

**キャピタランド インテグレートッド コマーシャル・トラスト (CapitaLand Integrated Commercial Trust) : 期末組入比率 11.0%**

イ. 不動産投資信託の目的及び基本的性格

安定した配当と持続可能なトータル・リターンを投資家に提供することを目的としています。

ロ. 不動産投資信託の特徴

主にシンガポール国内に所在する、小売店舗用不動産やオフィスビル等の商業用不動産へ投資しています。

ハ. 1口当たり資産運用報酬額等

「キャピタランド インテグレートッド コマーシャル・トラスト」は、投資信託の運用報酬に相当する詳細な開示がございませんので、「1口当たり資産運用報酬等の額」は開示することができません。なお、「キャピタランド インテグレートッド コマーシャル・トラスト」の開示情報資料についてはホームページにおいて閲覧することが可能です。

ホームページアドレス <https://www.cict.com.sg/>

## ○投資信託財産の構成

(2023年2月22日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資証券	千円 309,400	% 92.9
コール・ローン等、その他	23,642	7.1
投資信託財産総額	333,042	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*当期末における外貨建純資産(318,280千円)の投資信託財産総額(333,042千円)に対する比率は95.6%です。

\*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=134.90円、1香港ドル=17.20円、1シンガポールドル=100.72円。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年2月22日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	333,042,564
コール・ローン等	19,208,573
投資証券(評価額)	309,400,961
未収入金	605,428
未収配当金	3,827,602
(B) 負債	962,003
未払解約金	962,000
未払利息	3
(C) 純資産総額(A-B)	332,080,561
元本	80,786,129
次期繰越損益金	251,294,432
(D) 受益権総口数	80,786,129口
1万口当たり基準価額(C/D)	41,106円

(注) 期首元本額は88,967,102円、期中追加設定元本額は20,144,280円、期中一部解約元本額は28,325,253円、1口当たり純資産額は4,1106円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額・アジア・リートオープン(毎月決算型) 80,786,129円

## ○損益の状況 (2022年2月23日～2023年2月22日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	15,587,426
受取配当金	15,561,293
受取利息	28,255
支払利息	△ 2,122
(B) 有価証券売買損益	21,189,153
売買益	60,163,759
売買損	△ 38,974,606
(C) 保管費用等	△ 264,610
(D) 当期損益金(A+B+C)	36,511,969
(E) 前期繰越損益金	242,020,090
(F) 追加信託差損益金	63,919,120
(G) 解約差損益金	△ 91,156,747
(H) 計(D+E+F+G)	251,294,432
次期繰越損益金(H)	251,294,432

\*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

\*損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ○お知らせ

該当事項はございません。